

2024年度履修系統図・カリキュラムマップ（理学療法学科）

指定科目の教育内容	基礎科目	主題科目	専門基本科目	専門展開科目	(3) 年		(4) 年	
	(1) 年		(2) 年					
	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII
科学的思考の基盤・人間の生活	レクリエーション活動Ⅰ（Ⅰ）	スポーツ（Ⅰ）	スポーツ理論（Ⅰ）					
	英語Ⅰ（Ⅰ）	英語Ⅲ（Ⅰ）	言葉と文化（英語）Ⅰ（Ⅰ）	言葉と文化（英語）Ⅱ（Ⅰ）	医学英語（Ⅰ）			
	英語Ⅱ（Ⅰ）	英語Ⅳ（Ⅰ）	言葉と文化（中国語）Ⅰ（Ⅰ）	言葉と文化（中国語）Ⅱ（Ⅰ）				
	情報処理演習（Ⅰ）							
	基礎演習Ⅰ（Ⅰ）（Ⅳ）	基礎演習Ⅱ（Ⅰ）（Ⅳ）						
	ボランティア入門（Ⅰ）							
	ボランティア活動Ⅰ（Ⅰ）		ボランティア活動Ⅱ（Ⅰ）					
	健康科学（Ⅰ）	生命と医療の倫理（Ⅰ）				統計学（Ⅰ）		
	自然科学Ⅰ（生物系）（Ⅰ）	自然科学Ⅱ（物理系）（Ⅰ）						
	自然科学Ⅲ（数学系）（Ⅰ）	自然科学Ⅳ（化学系）（Ⅰ）						
	自然科学概論（Ⅰ）	データサイエンス（Ⅰ）						
	高齢者福祉論（Ⅰ）	障害者福祉論（Ⅰ）			介護福祉論Ⅰ（Ⅰ）		介護福祉論Ⅱ（Ⅰ）	
	心理学Ⅰ（Ⅱ）	心理学Ⅱ（Ⅱ）		社会学（Ⅰ）	人文地理（Ⅰ）			
				法学（憲法）Ⅰ（Ⅰ）	社会学Ⅰ（Ⅰ）			
				日本文学Ⅰ（Ⅰ）	日本文学Ⅱ（Ⅰ）	医療関係法（Ⅰ）		
						東洋史（Ⅰ）		
人体の構造と機能及び身の発達	解剖学Ⅰ（Ⅱ）	解剖学Ⅲ（Ⅱ）						
	解剖学Ⅱ（Ⅱ）		解剖学Ⅳ（Ⅱ）					
	解剖学実習（Ⅱ）							
	生理学Ⅰ（Ⅱ）	生理学Ⅱ（Ⅱ）	運動学Ⅰ（Ⅱ）	運動学Ⅱ（Ⅱ）				
	生理学実習（Ⅱ）			運動学実習（Ⅱ）（Ⅲ）				
疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進			人間発達学（Ⅱ）					
			臨床心理学Ⅰ（Ⅱ）	臨床心理学Ⅱ（Ⅱ）				
			精神医学（Ⅱ）		カウンセリング演習（Ⅳ）		高齢者の心理（Ⅱ）（Ⅳ）	
		医学概論（Ⅱ）		病理学（Ⅱ）			障害者の心理（Ⅱ）（Ⅳ）	
	公衆衛生学（Ⅱ）	安全管理（Ⅰ）（Ⅱ）	内科学Ⅰ（Ⅱ）	内科学Ⅱ（Ⅱ）	栄養・薬理学（Ⅱ）			
		感染防御（Ⅰ）（Ⅱ）	整形外科Ⅰ（Ⅱ）	整形外科Ⅱ（Ⅱ）				
保健医療福祉とリハビリテーションの理念			神経内科学Ⅰ（Ⅱ）	神経内科学Ⅱ（Ⅱ）				
			小児科学（Ⅱ）					
基礎理学療法学	リハビリテーション概論（Ⅱ）	リハビリテーション医学（Ⅱ）	老年学（Ⅱ）		地域リハビリテーション学（Ⅱ）（Ⅲ）			
	社会福祉概論Ⅰ（Ⅰ）	社会福祉概論Ⅱ（Ⅰ）					ケアマネジメント（Ⅱ）	
理学療法評価学	理学療法学概論（Ⅱ）		基礎理学療法治療学（Ⅱ）		理学療法研究法（Ⅱ）（Ⅲ）			
		理学療法評価概論（Ⅱ）	検査・測定論Ⅰ（Ⅱ）	検査・測定論Ⅱ（Ⅱ）	病態運動学（Ⅱ）			
理学療法治療学			検査・測定実習Ⅰ（Ⅱ）（Ⅳ）	検査・測定実習Ⅱ（Ⅱ）（Ⅳ）	理学療法画像評価学（Ⅱ）			
			運動療法学Ⅰ（Ⅱ）	運動療法学Ⅱ（Ⅱ）	運動療法学実習（Ⅱ）（Ⅲ）			
			物理療法学（Ⅱ）	スポーツリハビリテーション（Ⅱ）	理学療法治療学Ⅰ（運動器）（Ⅱ）（Ⅲ）			
				物理療法実習（Ⅱ）（Ⅲ）	理学療法治療学Ⅱ（中枢（Ⅰ））（Ⅱ）（Ⅲ）			
					理学療法治療学Ⅲ（中枢（Ⅱ））（Ⅱ）（Ⅲ）			
			日常生活活動学（Ⅱ）（Ⅲ）	日常生活活動実習（Ⅱ）（Ⅲ）	理学療法治療学Ⅳ（内部疾患）（Ⅱ）（Ⅲ）			
地域理学療法学					理学療法治療学Ⅴ（小児）（Ⅱ）（Ⅲ）			
					リハビリテーション・マネジメント演習（Ⅲ）（Ⅴ）			
					理学療法治療学実習Ⅰ（Ⅱ）（Ⅲ）	理学療法治療学実習Ⅱ（Ⅱ）（Ⅲ）		
					義肢装具学（Ⅱ）	義肢装具実習（Ⅱ）		
理学療法管理学					地域理学療法学（Ⅱ）（Ⅲ）	生活環境学（Ⅱ）（Ⅲ）		
					地域福祉論（Ⅱ）（Ⅴ）			
臨床実習			総合臨床実習Ⅰ（通所・訪問）（Ⅲ）（Ⅴ）					
					理学療法管理学（Ⅱ）（Ⅴ）			
その他の科目	見学実習（Ⅱ）（Ⅳ）		客観的臨床能力評価（Ⅱ）（Ⅳ）		総合臨床実習Ⅱ（評価）（Ⅲ）（Ⅴ）		総合臨床実習Ⅲ（Ⅲ）（Ⅴ）	
	地域支援実習（Ⅱ）（Ⅴ）							
					基礎ゼミⅠ（Ⅱ）（Ⅲ）	卒業研究ゼミⅠ（Ⅱ）（Ⅲ）	卒業研究ゼミⅡ（Ⅱ）（Ⅲ）	
					基礎ゼミⅡ（Ⅱ）（Ⅲ）	卒業論文（Ⅱ）（Ⅲ）		
							総合学習（Ⅱ）（Ⅴ）	

DP1
豊かな人間性と医療倫理観を支える幅広い教養を身につけている。

DP2
理学療法士として、科学的根拠に基づいた知識・技能と態度を身につけている。

DP3
保健・医療ならびに地域での課題を発見・理解し、解決に向けて論理的思考力を持って主体的に取り組むことができる。

DP4
対象者、その家族に寄添い、理学療法の実践に必要なコミュニケーション能力を身につけている。

DP5
医療チームの一員として、協働性とマネジメント能力を身につけている。